

## 経済学のための**数理生物学・STELLA**勉強会

進化経済学・進化ゲーム理論を引き合いに出すまでもなく、近年理論経済学のアナロジーは物理学よりも生物学に求められることが多くなってきました。これはかつて近代経済学の祖マーシャルが予言したところでもあります。そこで、この度、京都大学経済学部・大学院経済学研究科の有志で数理生物学・コンピューターシミュレーションソフトSTELLAの勉強会を開催することになりました。研究会は2002年の夏期集中でスピーディに進めたいと思います。また、将来的には日本の数理生物学の研究拠点である九州大学理学部巖佐研究室の若手研究者との交流も検討しています。興味のある方はご参加下さい。

- 使用予定テキスト：  
巖佐庸(1990)「数理生物学入門」HBJ出版局  
B.Hannon&M.Ruth(1997), Modeling Dynamic Biological Systems, Springer.
- 日時：応相談。数日間集中を予定。追って連絡。
- 場所：応相談。京都が暑ければ、信州蓼科でやることも可。追って連絡。

取り敢えず参加を希望される方は以下の誰かにお問い合わせ下さい。

依田高典(京大大学院経済学研究科助教授) ida@econ.kyoto-u.ac.jp

小川一仁(京大大学院経済学研究科D1) 59848122@people.or.jp

\* この勉強会は平成14年度経済学研究科博士後期課程ワークショップ「ネットワーク経済学」の一環ですが、どなたでも参加できます。